

## 羽村にバイオガス発電所



食べ残しなどを投入する重機のデモンストレーション＝羽村市で

### 都内で2カ所目

スーパー、飲食店、食品工場などから出る賞味期限切れの食品や食べ残しを利用するバイオガス発電所の竣工式が9日、羽村市緑ヶ丘3の現地であった。都内のバイオガス発電所は大田区に続いて2カ所目。

敷地内に前処理棟、発酵槽、発電設備などがある。業者が搬入した食べ残しや飲料などを発酵させ、発生したメタンガスで発電する。1日の処理能力は約80トン。年間の発電量は約850万キロワットで、一般家庭約1550世帯が年間に使う量に相当し、電力会社に販売する。

静岡県牧之原市で同様のプ

ロジェクトを進める「アーキアエナジー」(港区)が計画を作り、子会社の「西東京リサイクルセンター」が施設を運用する。

今月末に都の許可が出てから、本格的に稼働する。発電可能になるのは10月～11月の見通し。発電後に残った物質は有機肥料に使うことができ、農家に提供するという。

式に出席したアーキアエナジーの植田徹也社長は「地元に貢献するために建設した。雇用だけでなく、羽村のインフラの一部として地元と共に歩みたい」と話した。(布施谷航)